



- ☆第77回愛媛県高等学校総合体育大会陸上競技 男子100m・200m 優勝
- ☆第76回四国高等学校陸上競技対校選手権大会 男子100m 準優勝
- ☆令和5年度全国高等学校総合体育大会 出場

曾我さんは6月3日(土)から5日(月)にかけて開催された愛媛県高校総体陸上競技の部で男子100mおよび200mの2種目でW優勝を果たしました。続く四国大会(6月17日(土)~19日(月)、香川県立丸亀競技場)では男子100mで惜しくも優勝を逃したものの、10秒64のタイムで準優勝となり、7月22日(土)から北海道を舞台に開催される令和5年度全国高校総体(インターハイ)への出場を決めました。曾我さんは昨年2年生時にも4×100mリレーでインターハイに出場し、この1年間は筋力アップやスタート時にフォームが崩れないよう姿勢の改善に取り組んできたそうです。「高校生になって先輩達の競技に取り組む姿勢を見て自分の意識が変わった」と語り、単純に練習メニューをこなすだけでなく、「何のために、何を鍛えるのか」をしっかりと考えながらトレーニングすることで練習の質を高めているそうで、「周りに流されず自分の走りをする事」を目標に2度目のインターハイに挑みます。

八幡浜高等学校 3年  
曾我 俊明<sup>とし あき</sup>さん  
(大洲北中学校出身)

## HighSchool NOW

## Vol.77 長浜高等学校

～市内5校の高校生によるリレーエッセイ～

長浜高等学校の大西<sup>かえの</sup>香瑛乃です。私は、北海道から愛媛県の長浜高等学校に入学して、さまざまな面で成長できていると感じています。水族館部での活動は好きな生き物についての知識が増えるだけでなく、日々の班活動でも積極的にアイデアを出せるようになりました。しかし、私が一番成長していると感じているのはコミュニケーション力です。中学三年生までは人見知りで自分から意見を言うことが苦手でしたが、月に一度の水族館公開日に来てくださるみなさんに好きな生き物の魅力を伝えることの楽しさや嬉しさを感じ、自分から声をかけていけるようになってきています。そのため、生き物の解説などで身につけた積極性やコミュニケーション力にもっと自信を持てるようにしたいです。また、地域に少しでも貢献しようと参加したボランティア活動の経験も、今後生かしていきたいと思っています。



一回は帝京第五高等学校からです。一

## 肱川かわびらき

夏の観光シーズンの幕開けを記念し、肱川に親しみながら楽しんでもらうイベント「肱川かわびらき」が5月28日(日)に肱川緑地公園を会場として開催されました。さまざまなイベントが行われ、42.195kmをチームでリレーしながら走る「ええモンリレーマラソン」では、市内外から20チーム、合計168人が参加し、ランナーには周回するごとに「ええモン認定品」が贈られました。

ほかにもカヌー&SUP体験やベルト状のラインの上を綱渡りのように歩いたり飛んだりするスラックライン体験、テントサウナやマルシェなどが同時に開催され、初夏の川辺は多くの人でにぎわいました。

### 【ええモンリレーマラソン結果】

- 1位 大洲体協 月組 2時間16分57秒
- 2位 星河一天 2時間18分52秒
- 3位 大洲体協 花組 2時間20分30秒



ええモンリレーマラソン



カヌー&SUP体験

## 帝京第五高校サッカー部が冬夏連覇

昨年11月に全国高校サッカー選手権愛媛大会で優勝し、初めて全国の舞台に立った帝京第五高等学校サッカー部が、第77回愛媛県高校総体でも優勝を果たし、全国高校総体（インターハイ）初出場を決めました。

6月10日(土)にニンジニアスタジアムで行われた決勝戦では済美高校と対戦。全校生徒が応援する中、両者一歩も譲らぬ展開が続き、延長戦に突入。延長前半3分に森下勇璃さん（3年）がゴールを決め1-0で勝利しました。北海道で開催されるインターハイ初戦は7月29日(土)、広島国際学院と対戦します。



きりめき

ニュース

シリーズ

お知らせ

情報ひろば

図書館

未来を拓く

保健センター

相談・救急



## チャリティーバザー開催

国際ソロプチミスト大洲によるチャリティーバザーが5月14日(日)に大洲市総合福祉センターで開催されました。このチャリティーバザーは平成9年から開催され、今回で24回目を数える人気のイベントとあって会場には多くの人々が詰めかけました。国際ソロプチミストは世界最大の女性団体で、ソロプチミスト大洲は平成8年に結成されています。今回の収益は地域福祉活動や青少年健全育成などに役立てられるそうです。



## 第一生命保険(株)から花苗贈呈

第一生命保険株式会社からは大洲市との包括連携協定の一環として、子供たちの未来のためにと、毎年花の苗の寄贈を受けています。

今年度も大洲市内の5つの小学校へサルビアやナデシコの苗を合計200鉢いただきました。5月17日(水)には市役所で贈呈式がおこなわれ、松山支店大洲営業所の松本理沙<sup>りさ</sup>オフィス長より大洲市教育委員会教育長へ目録が手渡されました。(写真：長浜小学校寄贈時)



## おしどり湖で一番早いドラゴンは？

5月21日(日)に第26回おしどり湖ドラゴンボート大会が開催され、市内外から18チームが出場しました。参加者や観客はおしどり湖(鹿野川湖)の自然とふれあいながら、交流を深めました。

熱戦の結果、大洲高校の生徒・OBなどで構成された「大洲高校カヌー部応援隊」が2連覇を果たし、上位入賞チームには賞金や「肱川れいめん」などの特産品が贈られました。



## ほたるの里にぎわう

柳沢ほたるまつりが6月3日(土)、4日(日)の2日間に渡って開かれました。柳沢地区と田処地区では矢落川沿いでゲンジボタルが多く飛び交うこの時期に合わせてほたるまつりを開催していて、今回で48回目を数えます。会場となった旧柳沢小学校では各種バザーに加え、新谷中学校吹奏楽部によるコンサートやちびっこお菓子まき、地元ゆかりのある歌手えひめ憲一<sup>けんいち</sup>さんによる歌謡ショーなど盛りだくさんの催しが行われ、多くの人でにぎわいました。

## ゴミゼロ 530運動でまちをきれいに

毎年恒例の530運動が6月4日(日)に開催され、約550人の参加者は、自宅などから喜多小学校までゴミを拾いながら歩いて集まりました。

喜多小学校では地元団体によるアトラクションのほか、海洋ごみをテーマにしたパネル展示などの啓発活動が行われ、参加者は環境への理解を深めていました。

また、手作り出汁のうどんが無料でふるまわれ、参加者は持参したマイ箸を使って味わっていました。



## 国内初！はだか麦ウイスキーの試飲会

愛媛県が生産量日本一を誇る「はだか麦」を使ったウイスキーの試飲会が、中村時広<sup>ときひろ</sup>知事や関係者の出席のもと、6月4日(日)に大洲城で行われました。

はだか麦の認知度を向上させたいと、市内の酒店が生産者や新潟県の蒸留所などと協力して昨年2月から試験蒸留を行い、国内初の「はだか麦ウイスキー」の試飲となりました。今後はクラウドファンディングを行いながら、商品化に向けた開発を進めていくそうです。



## 蘆生しょうぶ祭り

6月4日(日)、長浜町蘆生地区で蘆生しょうぶ祭りが開催されました。蘆生しょうぶ園は地域住民が休耕田を活用して花菖蒲<sup>しょうぶ</sup>の栽培を行っていて、草刈りや水やりなどをして大切に育てています。この日は色とりどりの菖蒲が満開を迎えたこともあり、多くの人を訪れていました。また、隣の蘆生福祉センターではバザーやお餅の配布が行われたほか、午後からは愛媛県警音楽隊によるふれあいコンサートも開催され、祭りを盛り上げました。



## 豊かな海を願って

6月6日(火)、ヒラメの稚魚放流事業に長浜小学校の3年生が参加しました。この事業は長浜町漁業協同組合が、地元の海や魚に親しんでもらおうと、公益財団法人伊予灘漁業振興協会の協力を得て実施しています。この日はあいにくの雨で、カッパを着ながらの放流となりましたが、子供たちはバケツに入った8cmほどの稚魚約5,000匹を大切に海へ放ち、元気に泳いでいくヒラメを見守っていました。



きらめき

ニュース

シリーズ

お知らせ

情報ひろば

図書館

未来を拓く

保健センター

相談・救急



## 子供用ヘルメットが寄贈されました

6月9日(金)、松山市アクティブ・スポーツ協会の池田裕之<sup>ひろゆき</sup>会長が市役所を訪れ、子供の健全育成に役立てて欲しいと、スポーツ時の子供用ヘルメット15個を寄贈いただきました。同団体はあらゆるライフスポーツを始める子供たちをバックアップする活動をしていて、池田会長は「自転車のヘルメット着用が努力義務化されたが、子供の安全のためもっといろいろな場面でヘルメットの着用が普及してほしい」と話していました。



## 憧れのプロから学ぼう

愛媛オレンジバイキングスの選手によるバスケットボールクリニックが6月11日(日)に大洲市総合体育館で開催され、市内のミニバスケットボールチームから多くの子供が参加しました。子供たちはあこがれのプロ選手に少し緊張した様子でしたが、巧みなドリブルや正確なシュートを目にして驚きの声を上げていました。また、午後からは大会も開催され、教わった技術を生かしながらの熱戦が繰り広げられました。



## おおず旅行を楽しんで

6月13日(火)、14日(水)にJ R 四国による取材旅行が行われ、東京・大阪在住の記者やユーチューバーなどメディア関係者17人が市内の観光地を訪れました。

参加者はNIPPONIA HOTEL大洲城下町の宿泊オプションである「大洲城ナイトキャスルツアー」などを体験し、大洲の歴史情緒あふれる町並みを楽しみました。

旅の目的地として四国・大洲を選択してもらえよう、J R 四国は今後もPRを行っていくとのことです。



## 社会福祉協議会へ生活用品を寄贈

6月14日(水)、株式会社ダイナムから大洲市社会福祉協議会へ生活用品などの寄贈がありました。同社では地域に寄り添った活動を推進していて、今回は愛媛県と高知県の各店舗から生活用品や保存期間の長い食料品などを集め、大洲店の宮崎卓也<sup>たくや</sup>ストアマネージャーから大洲市社会福祉協議会の坪内修<sup>おさむ</sup>事務局長へ目録が手渡されました。寄贈された物資は生活に困っている人などの支援に使用されるとのことです。

## 【ナスの中華炒め】



## 材料（4人分）

ナス	400 g
エビ	300 g
ニラ	60 g
酒	小さじ2
片栗粉	小さじ2
しょうゆ	大さじ1と1/3
塩	小さじ1/2
砂糖	小さじ2/3
鶏がらスープの素	小さじ1/2
水	200cc
片栗粉	小さじ1
油	適量

## 作り方

- ① ナスは乱切りにし、水にさらす。
- ② エビは、背ワタをとり、縦半分に切る。（厚みを半分にする。）ボウルに入れ、Aでもんでおく。
- ③ ニラは約4cmの長さに切る。
- ④ フライパンに油を入れ、中火で②を炒めて、一度お皿に出す。
- ⑤ ④のフライパンでナスを炒める。（油が少なかったら足す。）
- ⑥ ナスがしんなりしたら、ニラと炒めたエビを加えてさらに炒める。
- ⑦ Bを入れてとろみがつくまで加熱する。

## ナスの栄養

ナスに含まれるカリウムは、余分な水分や塩分を体外に排出してくれるので、高血圧予防やむくみ解消に役立ちます。また、水分とともに熱を放出するので、夏バテ予防にも効果的です。

紫色の皮に含まれる色素成分は、強い抗酸化作用を持ち、生活習慣病予防やがん予防に効果が期待できます。



【レシピ提供：健康増進課】

CDO補佐官 鈴木邦和くにかず 第7回

## DXのすゝめ



今回も海外の先進国のDX事例を紹介します。

近年、デジタル技術を活用して、都市の機能やサービスを効率化・高度化する「スマートシティ」が世界各地で広がっています。世界でも最先端のスマートシティとして注目を集めているのがスペインのバルセロナです。バルセロナの特徴は、街中にセンサーを実装して各種データを収集し、「センテーター」と呼ばれる統合システムが都市を運営している点にあります。例えば、夜間の街灯は周囲の状況や治安を加味して明るさを制御したり、公園の散水栓も気温や湿度に応じて調整したりしています。また、街中の全てのゴミ箱にセンサーが設置され、満杯のゴミ箱が優先して回収されるようになっています。さらに、これまで警察が担当してきた速度取り締まりや駐車違反も、スピードセンサーやカメラによって報告されるようになりました。

これらはスマートシティにおけるセンサーを活用した事例ですが、いずれも「とにかくデジタル化すればよい」という発想でありません。あくまでも住民目線で困っている課題に対して、人の手が足りないところにテクノロジーの力を借りるといった考え方で運営されているのです。

## 文化財



愛媛県指定無形民俗文化財  
青島の盆踊り  
保護団体 青島盆踊り保存会

この踊りは、長浜沖の青島に伝わる盆踊りです。かつては、8月14、15日の両日に行われ、14日には、その年に亡くなった人の霊を慰めるための「亡者踊り」が赤穂四十七士の装束で、翌日には魚の供養の意味を込めた「大漁踊り」が賤ヶ岳七本槍の装束で、それぞれ夜を徹して演じられていました。

青島はもともと無人島でしたが、寛永16年（1639）に播州坂越村（現在の兵庫県赤穂市坂越）の漁師・与七郎が、一族16戸を率いて移住してきました。そして、望郷の念を慰めるため、毎年8月に氏神様の前で踊り明かしていたのが盆踊りのはじまりと伝えられています。全体的に赤穂の郷愁を感じさせるような出し物や演出が多く見られます。（昭和40年4月2日指定）